

令和元年 病害虫防除指導情報 第9号

作物名：アブラナ科野菜

病害虫名：ヨトウガ

ヨトウガの寄生が多く見られています。
ほ場をよく見回り、早期防除を徹底しましょう。

1. ヨトウガの発生状況（発生量 多い）

6月中旬に実施したアブラナ科野菜（津軽地域：ブロッコリー、県南地域：キャベツ）の病害虫巡回調査では、津軽地域の発生地点率は平年並、寄生株率は平年より高く、寄生数も平年より多かった。県南地域の発生地点率、寄生株率は平年より高く、寄生数も平年より多かった。寄生は卵塊と若齢幼虫が主であったが、一部では中齢幼虫の寄生や食害も見られている。

表1 6月中旬の巡回調査における津軽地域、県南地域のヨトウガの発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (卵塊+幼虫%)	寄生株率	10株当たり寄生数	
				甚	多	中	少			卵塊数	幼虫数
6月中旬	津軽 (ブロッコリー)	本年	6	0	0	16.7	0	16.7	2.8	0.2	2.2
		前年	6	0	0	16.7	16.7	33.3	1.7	0.1	1.7
		平年	5	0	0	4.2	16.7	20.8	0.4	0.0	0.5
	県南 (キャベツ)	本年	10	0	0	10.0	20.0	30.0	3.7	0.2	1.2
		前年	12	0	0	16.7	25.0	41.7	1.7	0.3	1.6
		平年	13	0	0	3.2	13.3	16.6	0.9	0.1	0.3

注) 発生程度：10株当たり寄生数 甚 31頭以上、多 30～16頭、中 15～6頭、少 5頭以下、津軽地域の平年値は2015年を除く過去4年の平均値



写真 6月中旬の巡回調査で確認されたヨトウガ中齢幼虫と食害

2. 防除対策

- (1) 生育初期に発生すると被害が大きいため、定植時の薬剤防除を徹底する。
- (2) 老齢幼虫になると薬剤の効果が劣るほか食害量も増えるので、ほ場をよく見回り、若中齢幼虫のうちに防除する。また、葉裏に産卵することが多いことから、薬剤散布にあたっては葉裏まで薬液が届くよう丁寧に散布する。
- (3) 同一時期に発生加害するコナガ、モンシロチョウ、ウワバ類などの幼虫やアブラムシ類を考慮し、農作物病害虫防除指針等を参考に効率的な薬剤を選択する。なお、コナガはジアミド剤（IRACコード 28）への抵抗性個体群が確認されているので薬剤選択時に留意するほか、抵抗性発現を避けるため同一系統の薬剤を連用しない。

《この情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900
〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6 担当：主幹 佐藤正和